



関東地区第7代表

法政大学

逆転出場の勢いそのまま、3年ぶりの全国制覇へ



#atarimaeni CUP

サッカーができる当たり前に、ありがとう！

準決勝 第1試合 MATCH DAY PROGRAM

1.21(木) 11:00 kickoff

全日本大学サッカー連盟公式チャンネルで生配信！



関東地区第3代表

早稲田大学



脱シルバーコレクター、今度こそ頂点へ

大 JR東日本カップ2020
第94回関東大学サッカーリーグ戦 1部

4位 10勝 7分 5敗
42得点 1部リーグ4位
30失点 1部リーグ4位
*失点数の少ない順として

平山駿 10ゴール (1部リーグ3位タイ)
佐藤大樹 8ゴール
飯島陸 6ゴール

『「アミノバイタル®」カップ』2020
第9回関東大学サッカートーナメント大会

8位 1回戦 vs. 尚美学園大学 3-1
2回戦 vs. 拓殖大学 2-1
準々決勝 vs. 東洋大学 2-3
順位決定戦 vs. 立正大学 0-1
順位決定戦 vs. 桐蔭横浜大学 不戦敗

関東リーグ、『「アミノバイタル®」カップ』
の結果によるポイント制度で出場権獲得

1 4年 GK	中野 小次郎	徳島V
2 4年 DF	森岡 陸	磐田U-18
3 4年 DF	高木 友也	法政大学第二高校
4 4年 DF	鳥居 俊	東京V-Y
5 4年 DF	宮部 大己	法政大学第二高校
6 3年 MF	松井 蓮之	矢板中央高校
7 4年 MF	竹本 大輝	成立学園高校
8 4年 MF	今泉 富	浜松開誠館高校
9 4年 FW	平山 駿	三菱養和SC-Y
10 4年 MF	長谷川 元希	大宮V
11 4年 MF	服部 剛大	横浜FC-Y
12 3年 GK	大塚 紀人	三菱養和SC-Y
13 4年 DF	城和 隼颯	柏U-18
14 3年 MF	田部井 涼	前橋育英高校
15 3年 FW	飯島 陸	前橋育英高校
16 3年 DF	陶山 勇磨	帝京長岡高校
17 3年 FW	田中 和樹	浦和学院高校
18 3年 MF	安光 将作	千葉U-18
19 3年 MF	宮本 優	清水Y
20 3年 FW	佐藤 大樹	札幌U-18
21 2年 GK	近藤 吾成	磐田U-18
22 2年 DF	高嶋 修也	明秀学園日立高校
23 4年 DF	関口 正大	新潟明訓高校
24 1年 DF	モヨ マルコム強志	東福岡高校
25 4年 MF	佐野 皓平	清水Y
26 2年 DF	白井 陽貴	矢板中央高校
27 1年 FW	久保 征一郎	FC東京U-18
28 2年 MF	佐野 陸人	清水Y
29 1年 DF	今野 息吹	三菱養和SC-Y
30 2年 DF	市川 侑生	浜松開誠館高校
31 1年 MF	高橋 馨希	常葉大学附属橋高校
32 2年 FW	大塚 尋斗	矢板中央高校
33 1年 MF	渡邊 綾平	前橋育英高校

1回戦 vs. 阪南大学

2-0 15番 飯島
6番 松井

序盤は阪南大に押し込まれるが、法大も1番中野小次郎を中心に体を張った守備でゴールを割らせない。14分に23番関口正大のロングキックから右サイドでチャンスを作り、立て続けにシュートを放つが決め切れず、スコアレスで試合を折り返す。後半に入りペースを握り始めた54分、14番田部井涼のコーナーキックをニアサイドで競り合い、流れたボールに15番飯島陸が頭で合わせ先制。また、終了間際にも再びコーナーキックからゴールが生まれる。田部井の蹴ったボールは相手GKの手をかすめ、クロスバーを直撃。その跳ね返りを途中出場の6番松井蓮之が頭で押し込み追加点。セットプレーからの2得点で勝利を収めた。

1-札幌内定	飯島陸(3年)	前橋育英高校出身の3年生。裏への抜け出しや、精度の高いシュートが魅力のFW。今大会では、3試合2得点の活躍を見せている。3回戦の流経大戦では、途中交代から決勝点を決めた。『「アミノバイタル®」カップ』2回戦の拓大戦でも、途中出場2分後の112分に劇的な決勝点を決めている。リーグ戦では今季6得点。第22節の早大戦でもゴールを決めており、この準決勝の早大戦でも、「試合を決めるゴール」が期待される。
1-磐田内定	高木友也(4年)	法政大学第二高校出身の4年生。来季より横浜FCに加入内定。スピードを活かしたドリブルや、左足から繰り出される精度の高いキックで法大の攻撃を支える大学屈指のSB。3回戦の流経大戦では、自陣から何人もの相手DFを置き去りにするドリブルで数多くのチャンスを演出。準決勝でもそのドリブルやパスで相手の脅威となるだろう。試合を決定づけるプレーに注目したい。
1-横浜FC内定	関口正大	コメント ～ここまでの勝ち上がり振り返って～ この大会に参加するにあたって、まずは1試合1試合をできるように感謝してプレーしてきました。試合内容においてはセットプレーからの得点が増え、攻撃の多彩さも出てきました。守備も最後まで粘り強く、安定した試合運びができていると思います。そしてスタメン・ベンチ関係なく、チーム全員で目の前の勝利のために闘っています。 ～準決勝への意気込み～ 準決勝では、ボールを保持してゴールを目指し、粘り強い守備でゴールを守ります。そして何より試合ができることに感謝して、目の前の1試合の勝利に向かってチーム全員で最後まで全力で闘います。
1-松本内定	山田晃士(4年)	浦和レッズY出身の4年生。今季は副将を務め、ザスパクサツ群馬への加入が内定している。今大会3試合連続無失点の早稲田の守護神は、とにかく熱い。試合前のスピーチは会場全体に響き渡り、チーム全体に活気をもたらすだけでなく、他大学からも注目の的。3回戦の甲南大戦では後半、攻め込まれた場面でスーパーセーブを見せ、早稲田のクリーンシートに貢献した。大一番となる準決勝でも、その熱量でチームを牽引する。
1-北九州内定	西堂久俊(2年)	市立船橋高校出身の2年生。今大会2得点1アシストと、全試合で得点に絡む活躍を見せている早稲田の旬な選手。サイドでボールを受けると、瞬間に相手を抜き去るスピードと、左足の豪快なシュートが持ち味。3回戦では、右サイドで相手を3人かわしてあげたクロスが得点に繋がり、貴重な2点目を演出した。リーグ戦中盤は怪我の影響で出場機会を欠いていただけに、準決勝以降のさらなる飛躍に期待だ。
1-甲府内定	山田晃士(4年)	コメント ～ここまでの勝ち上がり振り返って～ 振り返るとトーナメント戦ということもあり、非常に難しく厳しい3試合でした。しかし、チームとして1年間積み上げてきたことを信じて胸を張って戦い、乗り越えることができました。また、チームの強みである「繋がり」が勝利をもたらしたと思います。 ～準決勝への意気込み～ 次戦もチームとして積み上げてきたことを100%発揮できるように、短い期間ではありますが最高・最善の準備を進めていきます。今年1年間、猛烈に意識してきた日本一を成し遂げる為、早稲田らしくどんな状況でも泥臭く、愚直に、謙虚に前進し続け、部員全員が全身全霊で戦い抜きます。

2回戦 vs. 桃山学院大学

2-1 11番 服部
6番 松井

前半は桃山大にボールを保持されたが、DF陣が奮闘、シュートまでは持ち込ませない。すると39分、15番飯島陸のクロスのこぼれ球を拾った、11番服部剛大が倒されてPKを獲得。これを服部自らが右足で決め、法大が先制。しかし直後の41分、今度は桃山大にPKを献上し、失点。試合は振り出しに戻った。後半は法大ペースとなり、53分には飯島のシュートのこぼれ球に23番関口正大が反応。ミドルシュートがポストに直撃するなど、攻め込む時間が続いた。84分には、10番長谷川元希のコーナーキックに6番松井蓮之が頭で合わせ追加点。後半は相手のシュートを0に抑えた法大が、セットプレーからの得点で勝利し、3回戦へ進出した。

3回戦 vs. 流通経済大学

1-0 15番 飯島

序盤から激しいぶつかり合いとなったが、法大は23番関口正大、3番高木友也の両サイドバックの積極的な攻撃参加からペースをにぎる。しかし6本のシュートを放つものの得点には至らず、スコアレスで後半へ。後半も一進一退の攻防が続いたが、76分にピッチ中央で10番長谷川元希がボールを奪取。15番飯島陸、9番平山駿とテンポよくパスをつなぎ、再びボールを受けた長谷川が右に展開し中央へとパス。フリーで待っていた飯島が落ちてきて決め、法大が待望の先制点をあげた。その後は流経大の猛攻を2番森岡陸、1番中野小次郎を中心に守りきり、1-0で試合終了。『「アミノバイタル®」カップ』王者の流経大を下し、準決勝に進んだ。

vs. 甲南大学

3-0 5番 杉山
9番 梁
19番 奥田

早大は序盤から19番奥田陽琉を起点とした前線でのプレスで、相手のパスミス誘発。9分には敵陣でフリーキックを獲得し、2番阿部隼人がフェイントをかけて蹴り入れたボールに、主将の5番杉山耕二が頭で合わせ先制する。1-0で迎えた後半の61分には、20番西堂久後のクロスに9番梁賢柱が合わせて追加点。リードを2点に広げる。さらに72分には4番鎌先祐弥が高い位置でボールを奪い、3番柴田徹とのパス交換から右サイドを突破。折り返したボールに奥田がワンタッチで合わせ3点目。GK1番山田晃士やDF陣の集中した守りで最後までゴールを許さず、3-0で試合終了。準決勝に駒を進めた。

3回戦 vs. 静岡産業大学

3-0 4番 鎌先
3番 柴田
19番 奥田

前半は7番山下雄大を起点にボールを散らし、相手ゴールに迫る。前半終了間際には波状攻撃で決定的なチャンスを作るが、静産大守備陣の決死のブロックに阻まれスコアレスで前半終了。後半は一進一退の攻防が続いたが、70分に1回戦で2ゴールをマークした20番西堂久後のクロスに9番梁賢柱が合わせて追加点。さらに87分、柴田のクロスが相手DFの手に当たり再びPKを獲得。これを19番奥田陽琉が決め、試合を決定づける3点目。快勝で3回戦へと進んだ。

2回戦 vs. IPU・環太平洋大学

4-0 19番 奥田
20番 西堂
9番 梁
20番 西堂

試合が動いたのは開始早々の4分。9番梁賢柱が左サイドに切り込んで放った鋭いクロスに、19番奥田陽琉がニアで合わせ早大が先制する。30分には20番西堂久俊が、右サイドからのカットインで2人をかわし、強烈なシュートをゴールに突き刺さす。さらに41分、ゴール前で一度は失ったボールを鋭い寄せで奪い返すと、最後は梁が左足一閃。早大が3点を奪い前半を終える。後半も早大が相手陣内でボールを保持する展開に。73分、途中出場の6番大西翔也のクロスに、西堂が打点の高いヘディングで合わせ4点目。早大は終始主導権を握り、西堂が2得点の活躍で4発大勝。幸先のいいスタートを切った。

1回戦 vs. 城西大学

2-1 14勝 2分 6敗
48得点 1部リーグ1位
21失点 1部リーグ2位
*失点数の少ない順として

『「アミノバイタル®」カップ』2020
第9回関東大学サッカートーナメント大会

大 JR東日本カップ2020
第94回関東大学サッカーリーグ戦 1部

2位 1回戦 vs. 城西大学 2-1
2回戦 vs. 立教大学 0-0
PK 4-2
準々決勝 vs. 立正大学 1-0
準決勝 vs. 東洋大学 1-0
決勝 vs. 流通経済大学 2-3

関東リーグ、『「アミノバイタル®」カップ』の結果、出場権獲得

1 4年 GK	山田 晃士	浦和Y	一群馬内定
2 4年 DF	阿部 隼人	横浜FM-Y	一群馬内定
3 2年 DF	柴田 徹	湘南Y	
4 4年 MF	鎌先 祐弥	東福岡高校	一長崎内定
5 4年 DF	杉山 耕二	三菱養和SC-Y	
6 3年 DF	大西 翔也	浦和Y	
7 2年 MF	山下 雄大	柏U-18	
8 3年 MF	田中 雄大	桐光学園高校	
9 4年 FW	梁 賢柱	東京朝鮮高校	
10 3年 FW	加藤 拓己	山梨学院高校	来季清水内定
11 2年 MF	水野 雄太	熊本県立大津高校	
12 3年 MF	倉持 快	桐光学園高校	
13 3年 FW	杉田 将宏	名古屋U-18	
14 1年 MF	植村 洋斗	日本大学藤沢高校	
15 2年 DF	余合 壮太	市立船橋高校	
16 3年 GK	上川 琢	湘南Y	
17 4年 DF	伊藤 泰平	日本大学藤沢高校	
18 4年 FW	鈴木 郁也	FC東京U-18	
19 1年 FW	奥田 陽琉	柏U-18	
20 2年 MF	西堂 久俊	市立船橋高校	
21 4年 GK	千田 奎斗	横浜FM-Y	
22 2年 DF	監物 拓歩	清水Y	
23 1年 DF	中谷 颯良	静岡学園高校	
24 2年 DF	西村 昶央	東福岡高校	
25 1年 MF	小倉 陽太	横浜FC-Y	
26 2年 DF	鈴木 俊也	早稲田実業学校高等部	
27 3年 MF	田部井 悠	前橋育英高校	
28 2年 MF	丹羽 匠	G大阪Y	
29 4年 DF	坂本 寛之	横浜FM-Y	
30 4年 MF	小野寺 拓海	専修大学北上高校	
31 1年 MF	平松 柚佑	山梨学院高校	
32 4年 MF	松高 遼	浦和Y	
33 4年 DF	清水 駿	京都橋高校	

予想フォーメーション



今大会3回戦までのデータ	得点	失点	シュート数
	5	1	36
	平均1.7	平均0.3	平均12

今季の対戦成績	7/5 関東1部リーグ 第1節	1-2
	12/19 関東1部リーグ 第22節	2-0

予想フォーメーション



今大会3回戦までのデータ	得点	失点	シュート数
	10	0	37
	平均3.3	平均0	平均12.3

決勝戦
この試合の勝者 × 東海大vs順大の勝者
1.23(土) 13:00 BSテレビ朝日 AbemaTV で生中継！